

2021年度

授業概要

科目名	嚥下障害Ⅰ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必須	配当学年 時期
ST2年 前期							
【授業の目的・ねらい】 多様な原因で発症する摂食嚥下障害の診断、評価、訓練法を習得する							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 嚥下にかかわる器官と嚥下のメカニズム、及び嚥下障害の原因となる疾病と外傷、嚥下障害の病態について理解する							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 1. 嚥下にかかわる器官と嚥下のメカニズムを理解する 2. 対象者の病態・様態に関わらず摂食嚥下障害を評価するための知識を身につける 3. 摂食嚥下障害に対する治療法・リハビリテーションを理解する							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	総論:リハビリテーションと口腔機能について理解できる						ポ:1~3、67~80 摂食:18~26p
2	総論:摂食嚥下機能障害と嚥下5期について理解できる						ポ:4~15p 摂食:13~18p
3	復習:嚥下の器官、嚥下5期について説明できる						
4	小児の嚥下障害の病態について概要を理解できる						ポ:17、255p~ 摂食:30~51p
5	成人の嚥下障害の病態について概要を理解できる						ポ:17~34p 摂食:51~83p
6	事例検討。自分達で調べる事ができる(病態、原因疾患など)						
7	嚥下の観察、評価について理解できる						ポ:35~42p 摂食:91~95p
8	摂食嚥下に関する主な検査を理解できる①						ポ:43~47p 摂食:96~99p
9	摂食嚥下に関する主な検査を理解できる②(嚥下造影、嚥下内視鏡検査)						ポ:48~59p 摂食:107~118p
10	摂食嚥下障害に対するリスク管理について理解できる						ポ:81~97p 摂食:203~225p
11	摂食嚥下障害に対する訓練法について理解できる①(基礎訓練)						ポ:99~122p 摂食:225~264p
12	摂食嚥下障害に対する訓練法について理解できる②(直接訓練)						ポ:122~157p 摂食:225~264p
13	摂食嚥下障害に対する歯科補綴的アプローチについて理解できる						
14	摂食嚥下障害と栄養について理解できる						
15	まとめ						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 嚥下障害ポケットマニュアル							
【準備学習・時間外学習】 授業の予習、復習を行うこと。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。							